

山は恋人、魅力的な世界 都会では味わえない魅力がたくさん

森林組合参事を勤めた経験から林業の見識を深め、「株式会社高橋林業」を設立した林業経営者としての視点も持つ、山の達人・高橋正二さん。高層ビルがそびえ立つ現代だからこそ知ってほしい、山や森林ならではの楽しみ方を紹介していただきました。



株式会社高橋林業
代表取締役 高橋正二さん
神奈川県出身。山梨県庁退職後、森林組合の参事を勤め、林業経営の知識を深める。49歳で独立し、「高橋林業」を設立。

都会の喧騒から少し離れたただけでも気持ちや体調が一変します。そんな森林の魅力について、山をこよなく愛する高橋さんにお話を伺いました。

「知人から聞いた話ですが、その人のお子さんは喘息持ちで、川崎市に住んでいた頃は毎日のように病院へ一緒に通っていたのですが、空気がキレイで水がとっても美味しい自然豊かな神奈川・牧野地域に引っ越したとたん、そのお子さんが元気になったそうなんです。それに別の知人は、牧野地域から眺められる緑の山並

みを見る生活を続けていたら、次に視力が良くなっていたそうです」と話され、続けて高橋さんは、山の中での出来事について語ってくれました。

「広葉樹を伐採した森林、特に太いナラの木を伐採して2〜3年以上経った木の下などには、様々なキノコ類が発生します。その中に舞茸がたくさん発生しているのを見つけたことがあり、思わず舞い上がって喜んだ記憶があります。その喜び様から舞茸と呼ばれる事になったのかもしれないね……。ほかにもタラの芽やコゴミ、ウド、フキなどのキノコ類がたくさん採れます。食べきれないほど採れた時は、知人や隣近所の方におすそ分けするのも楽しいのひとつです」。高橋さんの人柄を感じられるエピソードです。他にもビックリした出来事も披露してくれました。

「もう40年位前の話ですが、奥山で人が入ったことがないような

川を横切ろうとしたら、何匹ものヤマメが河原に同時に飛び出しました。その光景には本当にビックリしました。驚いたのか怒ったのか、私にはわかりませんがね。また、奥深い森林の中を大きな枯木が沢に向かって倒れていま

た。それを横切ろうと近づいたら、その下にはなんとクマが寝ていたのです。そのクマは私の姿に気付き、頭を持ち上げて睨みました。その時は驚きと恐怖で震えてしまいました。クマを刺激しないよう視線を逸らさず、時間をかけ、ゆっくり10メートルほど後退してから夢中で逃げたことを思い出します」と高橋さんは朗らかに語ってくれました。

自然豊かな環境に身をゆだねることで体調が良くなったり、珍しい食材に出会えたり、またビックリするような出来事なども体験できます。高橋さんと同じにする山や森林を、次はぜひあなたが体感してみてください。

